

福祉



NO.10

平成18年8月5日発行



古川小学校福祉講演会



ボランティア講演会



吉城高校体験学習

主な内容

会長あいさつ	2
社会福祉協議会理事・評議員名簿	3
平成17年度事業報告	4～5
平成17年度決算書	6
給食サービス	7
トピックス	8～9
心配ごと相談	10
無料法律相談	11
会費のお願い	12





地域福祉の更なる充実を

飛騨市社会福祉協議会

会長 山本美春

去る七月一日の理事会において再選され二期目の重責を背負うことになりました。合併以来二期二年間は飛騨市の膨大な地域の福祉事業や福祉サービスが低下することなく、地域の隅々まで行き届く福祉活動の展開と実践に努め、多様化する福祉のニーズに応えられるよう社協の職員が一丸となって努力して参りました。

行政との連携を密に、地域の総ての人々の理解と協力や参加をいただきました。民生児童委員を始め福祉委員や福祉協力員、また、各種ボランティア団体の皆様、区長会、町内会、公民館等の役員、結婚アドバイザー、心配ごと相談員等多数の方々の献身的なご支援とご協力を深く感謝とお礼を申し上げます。更に共同募金（赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金）には市民の皆様のご温かい善意とご協力を重ねてお礼を申し上げます。

■少子化・人口減少をくい止め、高齢者は元気で長生きを…

飛騨市の最大の危機であります「少子化・人口減少」をいかにくい止める

か、それをどう「増子化・人口増加」につなげるか、「子育て環境日本一」を目指す市の重要施策を踏まえて、社協としても行政の関係部や課と連携を強化し、受託事業や結婚相談、出逢いイベント等に積極的に取り組んでいるところでです。

また、飛騨市における高齢化率は、ハイレベルで進行し三〇パーセントを超えそうです。我が国全体の二一パーセントと比較するとはるかに高く、飛騨市の人口の三・三人に一人は六五歳以上という超高齢社会となっております。しかし、元気で長生きできるということは喜ばしいことであります。病院や医療機関・施設等に長くお世話にならない人生を過ごせる老人福祉事業に推進に努め、老人力・パワーを存分に発揮して、元気な高齢者の町づくりを進めたいと考えます。

■ボランティアの方々の協働を…

社会福祉協議会の目指すところは、地域に暮らす皆様が社会福祉関係機関の参加・協力のもと、地域の人々が住みなれた町で安心して生活する事

の出来る「福祉のまちづくり」の実現を目指し様々な活動を行うことにあります。それらを具現化するため、各種の福祉サービスや相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動の協力等いろいろな場面で地域の福祉増進に取り組んでおります。

また市民の身近な地域で活動しているのが社会福祉協議会の活動であり、在宅生活を支援するためボランティアさんによる給食サービスを行っているほか多様な福祉ニーズに応えるため社会福祉協議会が地域の事業に取り組んでいます。

■福祉協力校の学習から、福祉の心が育っている…

毎年、飛騨市の小中高すべての学校に福祉協力校をお願いしています。今年も始まっていますが、ワークキャンプの実施や福祉ボランティアとの交流等体験学習を通して、社会福祉への理解と関心を高め、家庭や地域の福祉の心を深める教育実践を行っています。

昨年、十一月に古川と神岡で「福祉のつどい」において意見発表を実施しました。その中の中学生の発表内容を要約しますと、発表者全員が、福祉ボランティアで今、思うことや体験を通して、将来の生き方や夢や希望を語ってくれました。「将来、福祉関係の仕事をしたい」「看護師になりたい」「介

護職員になりたい」「お年寄りに笑顔で接する温かい心を持ち続けたい」等々、夢と希望を正々堂々と力強く発表してくれました。

拝聴していて感動すると共に胸が熱くなりました。今、飛騨市の高齢者や身障者が増えている状況の中で、福祉関係の職業を目指している生徒が多数いることを心強く思い、今後もどんどん育つことを期待しています。こうした生徒の心や思いが将来に亘って生きて働くことを願って止みません。

■地域の中で安全で安心して生活を…

最近、高齢者や障害者を狙った悪質商法や被害の問題、子供を狙った犯罪や虐待の問題などで、地域で安全で安心できる生活を揺るがす問題等が顕在化しています。

それだけに個々の住民が安心して暮らすことのできる地域作りに、社協の果たす役割が一層、重要視されます。「誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるよう」また、特に高齢者の皆さんから「長生きして良かった」と喜びの声が聞こえてくる地域福祉事業の充実発展に努力いたします。

これからも市民の皆様のご協力的な温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 飛騨市社会福祉協議会評議員名簿

(平成18年7月3日～平成20年6月30日)

理 事

役 職	氏 名	選 出 区 分	住 所	電話番号
会 長	山 本 美 春	学 識 経 験 者	神岡町船津1195	2-2380
副 会 長	中 村 守 隆	民 生 児 童 委 員	宮川町野首149	63-2074
副 会 長	岡 田 耕 治	自 治 会 等 役 員	古川町向町二丁目1-48	73-3011
理 事	樹 下 宣 一	学 識 経 験 者	古川町向町三丁目1-3	73-4777
理 事	石 原 肇	学 識 経 験 者	宮川町林465	63-2157
理 事	中 畑 喜 代 三	学 識 経 験 者	河合町角川561	65-2516
理 事	井 之 口 藤 男	民 生 児 童 委 員	古川町沼町348	73-2963
理 事	南 部 陽 一	議 会 代 表	神岡町東雲518-2	2-1955
理 事	下 田 久 太 郎	老 人 ク ラ ブ	古川町数河1997	75-2316
理 事	土 屋 雅 司	施 設 長	古川町増島町16-20	73-3804
理 事	重 盛 典 子	女 性 会	古川町本町3-11	73-3546
理 事	中 桐 光 俊	自 治 会 等 役 員	神岡町小萱2218	2-2956
理 事	黒 川 照 子	ボランティア団体	神岡町東町429-1	2-0152
理 事	青 山 隆 雄	身 体 障 害 者 協 会	神岡町船津1398	2-3716
理 事	中 畑 広 一	福 祉 事 務 所 長	河合町角川594	65-2508

幹 事

役 職	氏 名	選 出 区 分	住 所	電話番号
監 事	福 田 幸 博	学 識 経 験 者	古川町谷275	75-2653
監 事	竹 本 一 久	学 識 経 験 者	神岡町坂富町13-5	2-0144

評議員

役 職	氏 名	選 出 区 分	役 職	役 職	選 出 区 分
評 議 員	下 通 都 喜 雄	自 治 会 等 役 員	評 議 員	長 瀬 藤 憲	商 工 会
評 議 員	秋 田 一 彦	自 治 会 等 役 員	評 議 員	大 前 一 壽	商 工 会 議 所
評 議 員	横 川 奎 二	民 生 児 童 委 員	評 議 員	松 田 茂 孝	保 護 司
評 議 員	下 出 仁 作	民 生 児 童 委 員	評 議 員	杉 阪 徹 英	人 権 擁 護 委 員
評 議 員	天 木 喜 代	民 生 児 童 委 員	評 議 員	塚 本 勝 久	遺 族 会
評 議 員	堀 脇 ふ で 子	民 生 児 童 委 員	評 議 員	川 上 菫	ボランティア
評 議 員	野 村 恢 司	老 人 ク ラ ブ	評 議 員	重 山 宮 子	ボランティア
評 議 員	船 坂 良 孝	老 人 ク ラ ブ	評 議 員	大 霜 圭 子	ボランティア
評 議 員	大 下 静 江	女 性 会	評 議 員	梶 村 君 子	ボランティア
評 議 員	細 川 恵 子	女 性 会	評 議 員	古 林 由 美 子	ボランティア
評 議 員	玉 舎 正 男	身 体 障 害 者 団 体	評 議 員	井 口 八 千 代	ボランティア
評 議 員	和 泉 靖 夫	身 体 障 害 者 団 体	評 議 員	江 尻 倫 昭	医 師 会
評 議 員	竹 川 恒 子	母 子 寡 婦 福 祉 会	評 議 員	重 山 長	ライオンズクラブ
評 議 員	西 森 英 開	教 育 関 係 団 体	評 議 員	溝 口 豊	学 識 者
評 議 員	溝 端 進 太 郎	教 育 関 係 団 体	評 議 員	鈴 木 睦 芳	福 祉 施 設
評 議 員	和 仁 憲 一 郎	教 育 関 係 団 体			

平成17年度 社会福祉法人 飛騨市社会福祉協議会事業報告

合併して2年間、これまでの各町村社協の事業を継続しながら、特に、介護保険事業を中心に展開していた河合、宮川地区においても同様に福祉サービス事業が展開できるよう努力してきました。その上で、特に給食サービス事業は、河合町は飛まわり会にお願いし、宮川町ではあじさいの会により回数も増え、継続的に実施できました。少しでも各地区における提供回数を増やすことができるよう努力していきたいと考えています。

また、「健康と福祉のつどい」及び「福祉のつどい」においては、全市的に各学校の児童・生徒の福祉に関する意見・標語の発表をしていただきました。夏休みに全小中高等学校を対象に実施したワークキャンプに参加しての感想をまとめた内容が多く、児童・生徒に対する福祉の体験事業の重要性を改めて感じました。

今後、合併3年目を迎え、より充実した福祉サービスの提供ができ、『誰もが住み慣れた地域で安心した生活を送ることができる』よう市民皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

■ 会議の開催状況

- 社会福祉協議会理事会 3回（5月24日、12月12日、3月23日）
- 社会福祉協議会評議員会 3回（5月24日、12月12日、3月23日）
- 平成16年度 飛騨市社会福祉協議会監査
- サービス担当者会議（神岡地区42回）
- 実務者会議（古川地区41回）
- 実務者会議（宮川地区12回）
- 古川地区給食サービス打ち合わせ会議（2回）
- 神岡地区地域ケア調整会議（12回）
- 古川地区ボランティア連絡会（4回）
- 河合地区地域ケア会議（12回）
- 福祉協力校事業打ち合わせ会議（古川、河合、宮川地区）
- 河合地区介護者の会総会
- 在宅支援ヘルパー会議（神岡地区12回）
- 宮川地区給食サービス打ち合わせ会議
- 飛騨市結婚相談所運営委員会（2回）
- 岐阜県共同募金会飛騨市支会理事会3回（5月24日、12月12日、3月23日）
- 地域福祉推進事業打ち合わせ会議（古川地区）
- 福祉協力校事業打ち合わせ会議（神岡地区）
- 地域福祉推進事業打ち合わせ会議（神岡地区）
- 生きがいデイサービス事業打ち合わせ会議（神岡地区4回）
- 神岡地区配食ボランティア会議
- 災害ボランティアに関する研修会
- 古川、河合地区給食サービス反省会議
- 宮川地区給食サービス反省会議
- ふれあいのまちづくり推進会議



防火点検

■ 事業報告

- 各地区における地域福祉推進事業（古川地区43行政区）
- 近隣見守りネットワークブロック別研修会（神岡地区10地区公民館）
- 食事サービス（神岡地区なずな会43回）
- 給食サービス（古川地区くちなしの会9回、飛まわり会4回、古川栄養士会3回、給食センター2回、南吉城調理師会1回、あいの会2回）
- 給食サービス（河合地区飛まわり会12回、南吉城調理師会1回）
- 給食サービス（宮川地区あじさいの会10回、南吉城調理師会1回、
- ふれあい交流会28名参加（くちなしの会）
- ワークキャンプ事前説明会（各小中高校対象6回）

●ワークキャンプ

古川小6名（和光園）、古川西小6名（さくらの郷）、河合小・中9名（河合デイサービス）、宮川小2名（宮川デイサービス）、宮川中 3名（宮川デイサービス）、神岡小3名（旭ヶ丘デイ）、山之村小中学校2名（旭ヶ丘デイ）、神岡中学校3名（旭ヶ丘デイ）、飛騨神岡高校3名（旭ヶ丘デイ）、吉城高校3名（飛騨寿楽苑）

- ゆうゆう旅行（70歳以上一人暮らし高齢者親睦旅行）53名＝夕日ヶ浦温泉
- 吉城高校におけるボランティア説明会
- 吉城高校福祉体験学習 4回
- ボランティアフェスティバル（映画『日本一短い母への手紙』の上映、チャリティーバザー）
- 在宅介護者のつどい43名参加（長野県御岳ロープウェー）
- 秋季高齢者宅火災予防指導（10世帯 神岡町神岡消防署、北陸電力、北吉城ガス組合協力）
- 春季高齢者宅火災予防指導（16世帯 神岡町神岡消防署、北陸電力、北吉城ガス組合協力）
- 古川、河合地区防火点検（36世帯 飛騨市消防本部、中部電力の協力）
- 飛騨市健康と福祉のつどい（古川町総合会館～古川、河合、宮川地区小中学生意見・標語の発表）
- 飛騨市福祉のつどい開催（神岡町公民館～神岡町の小中学生による福祉に関する意見・標語発表、講演会）
- 歳末助け合い激励金配布
- 古川西小点字に関する学習会
- 河合小点字に関する学習会

■受託事業

- 生きがいデイサービス（神岡地区 71回）
- 軽度生活援助ヘルパー事業（古川地区、神岡地区、宮川地区）
- 一人暮らし高齢者及び老夫婦世帯友愛訪問

■民生委員・児童委員関係

- 各単位民児協事務局
- 飛騨市民児協事務局

■視察受け入れ

- 愛知県 西春町社会福祉協議会（10月6日）

■相談事業

- 心配ごと相談 河合地区 12回
毎月第2水曜日 午後7時から8時30分
- 心配ごと相談 神岡地区 24回
毎月第2金曜日 午後6時から8時
第4日曜日 午前10時から正午
- 心配ごと相談 古川地区24回
毎月10日、25日 午前9時から午後3時
- 心配ごと相談 宮川地区 12回
毎月第3金曜日 午後1時から4時
- 阪下 六代弁護士による無料法律相談 5回
（ハートピア古川5回、神岡町福祉会館3回）
- 心配ごと相談員研修会及び懇親会
（講師 トータルキャリアネットワーク・ブルー、阪下 六代弁護士）



災害ボランティア養成講座

■その他

- 飛騨市出会いイベント実施
- 福祉ひだ 発行4回
- 岐阜県社会福祉協議会評議員（会長）
- 岐阜県共同募金会理事（会長）
- 岐阜県共同募金会評議員（中村副会長）
- 神岡各地区公民館敬老会
- 河合町敬老会
- 宮川町敬老会
- 古川町老人クラブ連合会及び単位クラブへの助成（敬老事業）
- 岐阜県福祉サービス第3者評価機関に関する研究委員（局長）
- 飛騨寿楽苑第3者評価委員（圓山）
- ボランティア連絡会視察研修
- 赤い羽根共同募金運動
- 歳末助け合い募金運動
- 岐阜県社会福祉大会
- 災害ボランティアセンターの設置及び活動
- 地域福祉権利擁護事業の研修、啓発、推進
- 災害相互支援ネットワーク構築準備会議



平成17年度 飛騨市社会福祉協議会収支決算書

収入の部 184,773,456円

支出の部 184,773,456円

内 訳	金 額
会 費 収 入	11,048,100円
寄 付 金 収 入	4,279,048円
経常経費補助金収入	41,500,000円
助 成 金 収 入	11,000円
受 託 金 収 入	12,271,615円
事 業 収 入	31,790円
貸付事業等収入	75,000円
共同募金配分金収入	9,360,401円
負 担 金 収 入	1,658,100円
経理区分間繰入金収入	7,692,831円
受取利息配当金収入	60,084円
投資有価証券売却収入	2,840,000円
雑 収 入 他	68,285円
退職共済預け金収入	534,145円
前 期 繰 越 金	93,343,057円
合 計	184,773,456円

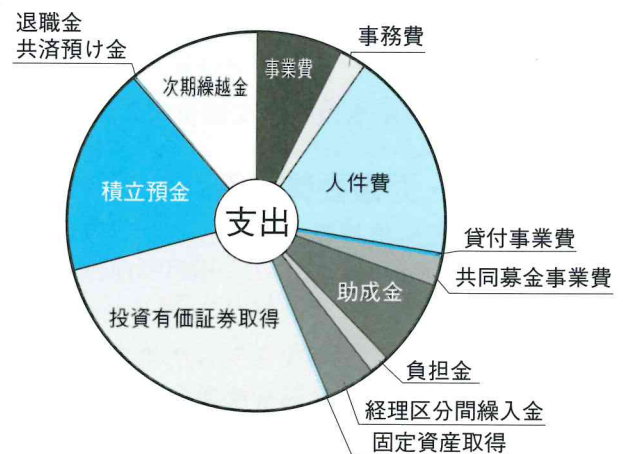
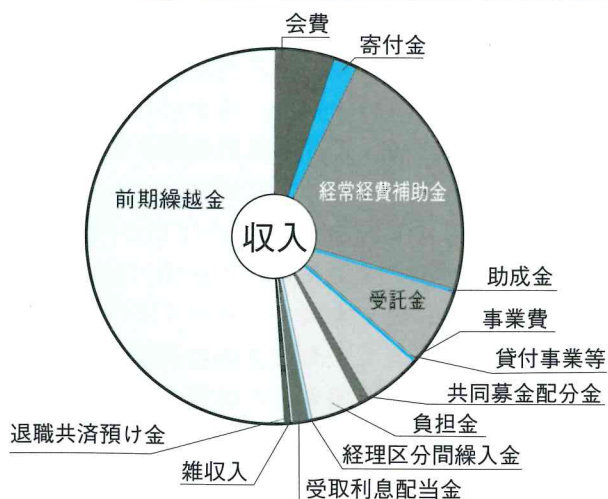
内 訳	金 額
事 業 費 支 出	13,538,957円
事 務 費 支 出	4,337,568円
人 件 費 支 出	33,083,607円
貸付事業等支出	155,000円
共同募金配分金事業費	4,930,000円
助 成 金 支 出	13,519,750円
負 担 金 支 出	3,216,000円
経理区分間繰入金支出	7,692,831円
固 定 資 産 取 得 支 出	139,000円
投資有価証券取得支出	50,168,327円
積立預金積立支出	32,840,000円
退職共済預け金支出	388,445円
次 期 繰 越 金	20,763,971円
合 計	184,773,456円

貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

借 方		金 額
科 目		
資 産 の 部		
流動資産		23,127,058円
預 貯 金		23,127,058円
未 収 金		0円
固定資産		156,508,473円
①基本財産		4,000,000円
基本財産特定預金		4,000,000円
②その他固定資産		152,508,473円
車 両 運 搬 具		15,322,885円
器 具 及 び 備 品		4,385,657円
減 価 償 却 累 計 額		-16,523,775円
権 利		80,640円
ソ フ ト ウ エ ア		250,834円
投 資 有 価 証 券		87,807,042円
長 期 貸 付 金		390,000円
退 職 共 済 預 け 金		1,499,805円
そ の 他 の 積 立 預 金		59,295,385円
資産の部合計		179,635,531円

貸 方		金 額
科 目		
負 債 の 部		
流動負債		2,363,087円
未 払 金		529,040円
未 返 還 金		1,212,410円
預 り 金		621,637円
固定負債		908,458円
退 職 金 給 与 引 当 金		908,458円
負債の部合計		3,271,545円
純 資 産 の 部		
基本金		4,000,000円
基 本 金		4,000,000円
基金		2,982,071円
基 金		2,982,071円
国庫補助金等特別積立		210,313円
そ の 他 積 立 金		147,102,427円
次 期 繰 越 活 動 収 支 差 額		22,069,175円
(内当期活動収支差額)		6,414,622円
純資産の部合計		176,363,986円
負債及び純資産の部合計		179,635,531円



トビックス



古川地区給食サービス

去る、5月18日、6月9日、くちなしの会（岡部せつ子会長）、6月17日、栄養士会（牛丸貴美子会長）による給食サービスが行われました。

また、7月8日には、くちなしの会と古川中学校生徒による給食サービス、7月22日には、飛まわり会（野口小夜子会長）と古川小学校、古川西小学校による給食サービスが行われました。できたお弁当は、配食ボランティアのランチボックス（川上 菘会長）と各学校の児童・生徒と一緒に配達をしていただきました。

お弁当は、旬の素材を使って色とりどりのお弁当なので、参加された児童・生徒の中には「おいしそうで、家でも作ってみたい」という生徒や、「配達の時、おじいちゃんおばあちゃんが喜んでくれ、うれしかったのでまた参加したい」といった児童がいました。

神岡地区食事サービス

神岡地区では、毎週金曜日に、なずな会（黒川 照子会長）による食事サービスが行われています。

カレーライスの時のみ保温式ランチジャーによるお弁当で、配達ボランティアの方には、お弁当箱の回収もしていただいております。

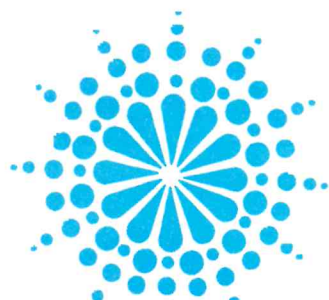
お祭り弁当、朴葉寿司弁当や懐かしい食事で、栄養のバランスも考えたお弁当なので、今後は全地域にお弁当配達ができるように、お弁当を配達していただける方を募集しています。運転免許証をお持ちの方なら、どなたでも結構です。お申し込み、お問い合わせは、飛騨市社会福祉協議会（電話0577-73-3214）までご連絡下さい。

宮川地区給食サービス

4月25日、5月19日、6月20日、7月19日に宮川あじさいの会（野村志賀子会長）、6月14日には南吉城調理師会（玉腰正人会長）による給食サービスが行われました。いずれのお弁当も鮎や山菜など、旬の食材を使ってあり、季節感あふれるお弁当でした。配達は民生委員やボランティアの方々にして頂き、受け取った方たちは「毎回このお弁当を心待ちにしています。」などと喜んでみえました。

河合地区給食サービス

河合地区では今年度より給食サービスのボランティア団体として「福寿草の会」が発足しました。5月23日、6月28日には河合福寿草の会（下堂前ハナ工会長）、6月14日には、南吉城調理師会（玉腰正人会長）による給食サービスが行われました。栄養バランスを考えた色鮮やかなお弁当に、受け取られた方は大変よろこんでみえました。配達は民生委員児童委員の方々にしていただいております。



古川小学校福祉講演会



5月17日、古川小学校
全児童を対象に福祉講演会を行いました。講師には、mottoひょうご事務局長の栗木 剛先生をお迎えし「心とところが通いあう～ほんわか講演会」と題し、講演していただきました。栗木さんが住んでおられる、兵庫県明石市には、耳の聞こえない友人が居え、また、目の見えない女性の方と出会えた事を中心に、障害者の方とのコミュニケーションはどうしたらいいかと、児童たちに問いかけながらの楽しい講演となりました。児童からは、「障害者の方は、決して特別な人でなく、遊びたいし、旅行もしたいし、勉強もしたいという気持ちは、自分たちと同じで、手話や点字にこだわらず、笑顔で接していれば、気持ちが通じるという事を聞いて、今後の課題となりました。」と話していました。



ボランティア講演会

5月17日、飛騨市ボランティア連絡会と当協議会の共催で、「ボランティア講演会」を河合町公民館で開催いたしました。講師には、mottoひょうご事務局長の栗木 剛先生をお迎えし、「心とところが通いあう～ほんわか講演会～」と題し、約37名の団体会員や市民の方が聴講されました。栗木さんには、昨年12月に来て頂き、今回が2回目の講演でしたが、参加された方からは、「何度聞いても、栗木さんの話は、楽しんで聞け、これからの活動に向けて力がでた」と話しておられました。栗木さんは、日ごろの団体活動の話や、子育てボランティアの話や、最後に、ボランティア活動も長くすればするほど、こうあるべきと思いきみがちですが、世の中の変化と同時に、それに対応し、お互いに知識を高めあい、頭もこころもやわらかくし、一人一人がががやけるボランティア活動をすすめてほしいと話されました。





吉城高校福祉体験

6月26日から30日の1週間、吉城高校生の1・2年生7クラス対象に福祉体験学習をしていただきました。家庭科の授業の一環で、高齢社会を理解する事前学習として、柏葉会館を利用して、車椅子体験、高齢者疑似体験をしていただきました。車椅子は、実際自分が骨折をし、使用していたことのある生徒や、中学校のときに体験したことのある生徒もありました。段差や坂道、砂利道での介助の大変さを学んでいただきました。また、疑似体験では、白内障になると、チラシが見にくくなり、背骨が曲がって、さらに足が不自由だと、階段の上り下りも危険だということを理解していただきました。参加された生徒からは『高齢者になって、障害をもつと大変だということがよく分かり、いい体験になりました。』や『これからは、お年寄りや障害者の方が困っていたら手を差し伸べたいと思います』などの感想が聞かれました。



飛騨市民児協定期総会開催

飛騨市民生委員児童委員協議会（中村守隆会長）では、去る5月17日に平成18年度の定期総会が開催されました。来賓として、溝口助役を始め、市役所の関係者の方のご臨席のもと総会を行ないました。その後、講演会としてmottoひょうご事務局長の栗木剛先生による「心とこころが通いあうまちづくり」と題して講演をしていただきました。栗木先生の小学校5年生のころお母様が男性と家を出て行かれ、母方の祖母とお父様と先生という三人暮らしが始まり、その後、大変な苦勞をされ、音信不通だったお母様が突然、その男性と二人の子供を連れて帰って来られたりということがあったという辛い体験談を交えながらもユーモアたっぷりにお話しされました。先生も、それから何十年も経ってから、民生委員の方にお世話になったということがわかり、感謝の気持ちで一杯ですと話されました。また、地域の若い方は皆さんの次世代の担い手になるので、地域の問題は分担しないと地域作りができない。また、自分から心を開いていかないと相手も来てくれないということを自覚して活動していただきたいと講演されました。

5月16日、「福祉に関する講演会」を古川町総合会館で開催いたしました。講師には、mottoひょうご事務局長の栗木剛先生をお迎えし、「肩肘はらない地域福祉」と題し、約20名の福祉委員や福祉協力員の方たちが聴講されました。栗木さんは、地域福祉活動をしていく中で、地域福祉を難しく考えないで、民生委員、自治会長などのネットワークづくりをしながら、地域みんなで、住みやすい町づくりを目指してほしいと話されました。福祉委員や福祉協力員の皆さんは、日ごろ各地域での福祉活動を中心に活動をしてみえますが、各地域での活動を自分一人でかかえこまず、地域の方たちと一緒に、今後の活動をすすめてほしいと思いました。

福祉に関する講演会



飛騨市心配ごと相談所

相談日	開設場所	開設時間	相談員	
8月	9日(水)	河合町公民館	午後7時～午後8時30分	松井新吉 堀脇ふで子
	10日(木)	ハートピア古川	午前10時～正午	北平明 竹之内志げ 岩佐英夫 下出弘幸 人権擁護委員
	11日(金)	神岡振興事務所 第3会議室	午後6時～午後8時	中澤靖子 蒔田ソデ
	18日(金)	宮川町保健センター	午後1時～午後4時	中村守隆
	25日(金)	ハートピア古川	午後1時30分～午後3時30分	北平明 竹之内志げ 岩佐英夫 下出弘幸 人権擁護委員
	27日(日)	神岡振興事務所 第3会議室	午前10時～正午	横川奎二子 鳥羽敬
9月	8日(金)	神岡振興事務所 第3会議室	午後6時～午後8時	沖野好夫子 蒔田ソデ
	10日(日)	ハートピア古川	午前10時～正午	井之口藤男 野村久乃 下出弘幸 人権擁護委員
	13日(水)	友雪館	午後7時～午後8時30分	政木茂弘 松田
	15日(金)	宮川町保健センター	午後1時～午後4時	秋田一彦
	24日(日)	神岡振興事務所 第3会議室	午前10時～正午	中澤靖子 黒川照
	25日(月)	ハートピア古川	午後1時30分～午後3時30分	井之口藤男 野村久乃 下出弘幸 人権擁護委員
10月	10日(火)	ハートピア古川	午前10時～正午	森下重利 野村貴美子 下出弘幸 人権擁護委員
	11日(水)	河合町公民館	午後7時～午後8時30分	垣内和義子 岩佐恵
	13日(金)	神岡振興事務所 第3会議室	午後6時～午後8時	横川奎二子 蒔田ソデ
	20日(金)	宮川町保健センター	午後1時～午後4時	小坂喜男
	22日(日)	神岡振興事務所 第3会議室	午前10時～正午	沖野好夫子 黒川照
	25日(水)	ハートピア古川	午後1時30分～午後3時30分	森下重利 野村貴美子 下出弘幸 人権擁護委員



弁護士による 無料法律相談

- 期 日** 平成18年8月23日水 (ハートピア古川)
平成18年9月27日水 (神岡町福祉会館)
- 時 間** 午後1時30分～午後4時30分 (1回あたり6名まで)
- 相談員** 阪下六代 弁護士

*希望される期日を電話でお申し込み下さい。相談は無料です。
*申し込み順に時間を決定させていただきます。
*先着順に受け入れいたします。定員を超えた場合は次の月をお願いすることがあります。



飛騨市社会福祉協議会 TEL0577-73-3214 (担当 円山)



ボランティアフェスティバル

日時 9月10日(日)

場所 飛騨市文化交流センター

映画上映 「明日の記憶」
チャリティーバザー開催
(ハートピア古川)

チケットは、飛騨市社会福祉協議会
TEL0577-73-3214 までお問合せ下さい

ホームページを開設しています
<http://www.17.ocn.ne.jp/~hfukushi/>

寄付

ご寄付いただきありがとうございます。
平成十八年五月十五日～七月二十日受付分

- ◎奥田 高志様 (神岡町) 五〇、〇〇〇円
- ◎谷 弥志様 (古川町) 二〇、〇〇〇円
- ◎古田 房子様 (神岡町) 五〇、〇〇〇円
- ◎エコショップ古川店様 (古川町) 四〇、八五〇円
- ◎大坪外喜夫様 (神岡町) 五〇、〇〇〇円
- ◎中央健老クラブ (神岡町)

会長 東忠男様
雑巾 七十八枚



飛騨市社会福祉協議会会費にご協力をお願いします

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる
福祉のまちづくりを目指して

社会福祉協議会の職員の人件費等は、県や市からの補助金で運営されています。

福祉事業につきましては、皆様からの会費や寄付金、共同募金によって運営されており、社会福祉協議会を運営する上で大切な財源となっています。

飛騨市社会福祉協議会の会費を募集させていただきますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

各区の区長や町内会を通じて会費の協力をお願いしています。また、各会社や法人の皆様にも特別会員としてのご協力をお願いします。それ以外にも、皆様からの善意を寄付金として総合会館内の社会福祉協議会事務局でも受け付けていますので、ご協力をお願いします。

皆様からお寄せいただきました会費は、下記のような在宅福祉サービスの提供や、児童・生徒の福祉教育の推進、ボランティア活動の振興、心配ごと相談などの福祉活動や調査・広報活動に活用されます。皆様の温かいご協力をお願い致します。



編集後記

集をさせていただきます。

皆様から寄せていただきました貴重な会費を有効に活用できるよう努力致しますので皆様のご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。吉城高校の家庭科で「高齢者について」の授業があり、一、二年生を対象として二時間ずつ七クラスにおいて福祉の体験学習をしていただきました。「将来、介護の仕事に就いてみたい」と話していた生徒は特に、真剣な表情で取り組んでいました。中学校でも、このような体験学習をされた生徒も多くなっており、各学校での福祉体験学習が充実されていることが伺えました。

今後の人生の中でこのような体験を少しでも生かしていただき、社会に出られても、お年寄りや障害者に対して優しい気持ちを持って接することのできる飛騨市の人であって欲しいものです。

飛騨市社会福祉協議会も合併後、三年目に入り四ヶ月が経過しました。今年度も福祉サービスの充実のため、会費の募